

すべては広島県民の皆さんの生活を支えるため



広島県総務局財政課  
河合 亮  
Ryo KAWAI

平成 30年 4月 総務省採用  
同 自治税務局都道府県税課  
8月 現職

県庁へは徒歩とバスで通い、通勤ラッシュとは無縁の生活です！バスの中で一日の流れをシミュレートし、職場に着いたら課の最新のスケジュールをチェックし始業に備えます。

始業から、エンジン全開で業務スタートです。説明資料をまとめつつ、忙しい上司のスケジュールの合間を縫って、報告します。課全体の動きにアンテナを張りつつ、自分の仕事も進めていくにはまだまだ半人前。先輩方の仕事ぶりに多くを吸収できるように、意識しています。

庁内各局から提案のあった議案について、関係課・法制担当課と交えてのヒアリングを行います。内容だけでなく、国の法令との関係や県内市町への影響、条文の書き振りを精査していきます。条例が形になっていくダイナミックな場面です。



登庁  
8:00

始業  
8:30

議案ヒアリング  
10:00

昼食  
12:00

局長説明  
15:00

協議・退庁  
18:00

登庁  
9:20

情報収集  
9:30

事業者との打合せ  
11:00

昼食  
12:00

会議準備  
15:00

退庁  
19:30



その日のスケジュールを思い出しながら通勤します。打合せが多い日は他の仕事がなかなかできないため、優先順位をつけて仕事にとりかかることが重要になります。

インターネット上で何か問題は起こっていないか、毎日の情報収集は欠かせません。最新の情報だけでなく、過去の資料から情報を得ることも多々。他省庁の会議を傍聴して情報収集することもあります。

総務省の委託事業である違法・有害情報相談センターの方から、センターに寄せられた相談内容について情報共有をしていただきます。インターネット上でどのようなことが問題になっているのかわかることで、今後の政策の参考とします。

同期とランチの時間です。普段は省内で済ませることが多いですが、予定が合えば銀座に行くこともあります。同期とおしゃべりでリフレッシュし、午後からの仕事も頑張ろう！という気持ちになります。

「プラットフォームサービスに関する研究会」の事務局として、構成員の先生方の日程調整や会議室準備、資料作成等を行います。円滑な会議運営のため、念入りの準備が必要となります。毎回の会議準備は大変ですが、会議が無事に終了したときには達成感があります。

退庁後は、他省庁の同期や学生時代の友人との飲みに行くこともあります。異なる環境で頑張る友人たちと話すことで、良い刺激を受けます。

総合通信基盤局電気通信事業部  
消費者行政第二課

行徳 早織

Saori GYOUTOKU

平成 30年 4月 総務省採用  
現職

入省して4か月後、私は広島県へ赴任し、総務局財政課に配属となりました。県全体の財政運営を担う財政課での仕事は多岐にわたります。私は水道事業などの県が経営する企業の担当として関係課との調整を行うほか、議会に提出する議案のとりまとめや、宝くじの売上向上策の検討などを行っています。これらに加え、平成30年7月に発生した豪雨災害からの復興のために寄せられた寄附金を適切に管理し、いかに活用していくかを考えています。1年目職員といえども、県の財政を左右する責任の重い仕事を担っていることには変わりはありません。先輩職員の方々から助言をいただきつつ、仕事に対する姿勢を学びながら、日々奮闘しています。何より、扱う数字の先にある広島県民の皆さんの生活を想うことを大切にして、仕事に取り組んでいます

担当部局の予算について関係課と打ち合わせをします。水道施設の災害からの復興状況や今後の経営見通しなど、県民の生活に密接に関係する内容について、丁寧に協議を重ねながら、自分の役割の中で少しでも被災地の復興に貢献できるよう、心を砕きます。仕事に区切りがついたら、翌日の業務を確認し、退庁。明日もがんばります！

時間に余裕のある時は、先輩職員の方々や県庁周辺のお店に足を伸ばすこともしばしば。特に広島名物のお好み焼きは絶品で、回りきれないくらい沢山のお店があり、いくら食べても飽きません。本場の味を堪能して、午後の仕事へのエネルギーを蓄えます。

災害復興のための寄附金が現在どれだけ集まっているか、それをどういった事業に活用していくかなどについて、課長・部長説明を経た上で局長へ説明を行います。ここでは事業を所管する庁内各局との連携が欠かせません。寄附していただいた全国の皆さんの想いに応えられるよう、数字ひとつひとつに細心の注意を払いながら、慎重に検討を進めます。



今では生活する上で当たり前になったインターネットですが、便利な反面、不安に感じることも多いのではないのでしょうか。インターネットを通じた犯罪やデマ情報の拡散、情報漏えいなど、インターネットの利用は常にこれらのリスクと隣合わせです。私の所属する消費者行政第二課では、私たちが普段何気なく使っているインターネットを安心して使えるような取組を進めています。「プラットフォームサービスに関する研究会」においては、有識者の先生方や関係事業者の方々にご協力いただきながら、プラットフォーム事業者の利用者情報の取扱いについて検討を行っています。また、インターネット上にあふれる違法な情報や他人の権利を侵害する情報などへの対策についても、事業者の方々にご協力いただきながら日々取り組んでいます。新しい技術が次々と出てくる中で生じる諸問題は一朝一夕で解決できるものではありませんが、利用者の不安を少しでも取り除けるよう、これからも日々の業務に取り組んでいきます。



便利で安心な社会のために

先輩からのメッセージ

# 技術系

